

# 花巻市明るい選挙啓発ポスターコンクール 入選作品を紹介します

将来有権者となる児童生徒の皆さんが、選挙を身近に感じ興味を持つきっかけとなるよう実施している「明るい選挙啓発ポスターコンクール」。本年度は小学校の部に29点、中学校の部に18点の応募がありました。その中から同コンクール審査会において入選した作品を紹介します。

【問い合わせ】花巻市選挙管理委員会事務局(☎41-3603)

## ～中学校の部～



**最優秀賞**  
花巻中3年  
田熊優美さん

優秀賞



花巻中3年  
千葉薫さん



石鳥谷中2年  
直町莉那さん



花巻中3年  
菊池昊さん



石鳥谷中3年  
晴山和音さん

## ～小学校の部～



**最優秀賞**  
湯本小6年  
瀬川真央さん

優秀賞



湯本小6年  
笹野珠愛さん



湯本小6年  
水谷尚暉さん

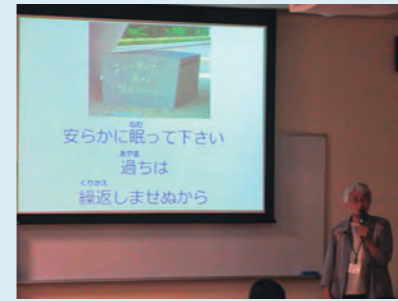


湯本小6年  
永喜多優花さん



湯本小6年  
高橋奏太さん

【問い合わせ】本館総務課(☎41-3506)



▲学習会の様子

石鳥谷小学校6年 田澤心陽さん  
私は、この平和学習会に参加する前は、戦争は自分にとって遠いもの感じていました。広島原爆は聞いたことがありましたが、花巻空襲は、初めて聞きました。戦争では、多くの人が亡くなってしまい、大切な人を失いました。私は、話を聞いているうちにどんどん怖くなりました。今も他の国では戦争が起きていることに悲しい気持ちになります。このようなことが日本でも起きていたなんて私には想像できません。戦争を経験して語り継ぐ人は少なくなっています。だから、平和学習会で聞いた話を後世に伝え、このまま戦争が起らない平和な世の中になるといいと思います。



▲戦争時代に戦時繊維を集めるため岩手県に貼られたチラシ(花巻市博物館所蔵)

新堀小学校6年 平井冬暉さん  
ぼくが非核平和学習会に参加して分かったことは、太平洋戦争の終わりごろ、リトル・ボーイという原子爆弾が広島に落とされたことです。爆弾による熱線や爆風で、たくさんの人々が命を落とすことを知り、戦争が本当に怖いものだ分かりました。そして絶対に原子爆弾は使ってはいけないと強く感じました。家に帰って、ぼくの祖父の祖父が戦争に行く時のものと思われる写真を見せられました。遠い話だった戦争が、身近に感じられました。二度と戦争を起さすことのない世界になってほしいと思います。



▲花巻に残る戦争遺構の一つ、防空監視哨跡。米軍機の監視に使用されていた(若葉町)

八幡小学校6年 筑後琴子さん  
非核平和学習会で私は、核兵器のおそろしさや平和の大切さを学びました。知ったことは、広島で何が起ったのか、花巻空襲はどのような被害だったのかということ。広島にはとても強い破壊力を持った原子爆弾が投下され、1発で何気ない風景がふきとび、多くの人が亡くなり、放射線をあびて亡くなった方もたくさんいることも分かりました。花巻空襲でも、辛い思いをした人はたくさんいると思うので忘れないでいきたいです。私は戦争を体験したことはないけれど、戦争の記憶は残されたものや写真に残っているの、次の世代の人たちにも知ってもらって、核のない平和な世界になってほしいです。



八重畑小学校6年 佐藤龍玖さん  
ぼくは、この非核平和学習会でさまざまなことを学びました。一つ目は、本当の原爆のおそろしさです。ぼくが思っていた原爆は大きく、爆破後の、放射線だけがすごいものだと思いましたが、本当は、熱線や爆風などの強力なものがあって、それがピンポン玉1個分だけで県がなくなってしまうと考えると、すごくゾッとします。そして一つの爆弾だけで何十万人と死んでしまうのはすごくこわいし、悲しいです。二つ目は、花巻で戦争をしてきたということです。何十発と爆弾をはなれたれ、5分の1が焼け、80名以上が亡くなってしまったそうです。故郷が戦争をしてきたなんて知らなかったし、びっくりしました。この事を伝え忘れないようにします。



東和小学校6年 小原丸葉さん  
ぼくは、原爆はとてもおそろしいなと感じました。原爆のこわいところが、爆風、熱線、放射線だと知りました。爆風は、秒速280kmの風がふいて台風よりも強いそうです。熱線は、爆発したときの表面温度が7,700度で太陽より熱く、あらゆるものをとがしてしまっただけで、放射線は、人のDNAを破壊し、たくさんの方が亡くなってしまった。またがんや白血病になったりしたそうです。黒い雨をたくさんみた人、黒い雨が降った。花巻でも、爆弾で亡くなったたりしてしまっている人もいた。ぼくは、平和な世界をつくらせてほしいと思います。